分野	科目名	配当年次	開講期	
専門基礎分野	看護関係法令	3年次	前期	
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1単位 (15時間)	16時間	菅谷 清美	無	
授業の概要	保健・医療・福祉に関する諸制度の概念を理解し、健康な生活を維持するために必要な法令を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生命の誕生と終焉についての問題を法的視点からその問題点の本質を考えることができる。 2. 医療における自己決定権の重要性について理解することができる。 3. 講義のテーマに関わる諸法律と法制度を学び理解することができる。 			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考
	1	看護と法 (1) 医療法 (2) 保健師助産師看護師法 (3) 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (4) 医療事故と法的責任	講義	
	2 3	移植医療と法律 (1) 脳死とは (2) 臓器移植における意思決定 (3) 生体移植について	講義	
	4 5 6	積極的安楽死について考える (1) 安楽死問題の原点 (2) 安楽死についての法的問題点 (3) 海外と日本における安楽死法制 (4) 安楽死と裁判・安楽死の本質	講義	
	7 8	尊厳死を考える (1) エンドオブライフ・ケアとは (2) ACP (アドバンスケアプランニング) について (3) 人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドラインについて	講義	
評価	レポート 80点+テスト 20点 ① 積極的安楽死に対してどのように考えるか ② 看護師として意思決定支援において必要なことは何か どちらとも、講義の内容のみならず、自分で文献を読みそこからさらに考えを深めてください。 レポートには、必ず引用内容と引用文献を記載してください。			
参考文献	レジュメと講義資料は配布する。			
備考				